

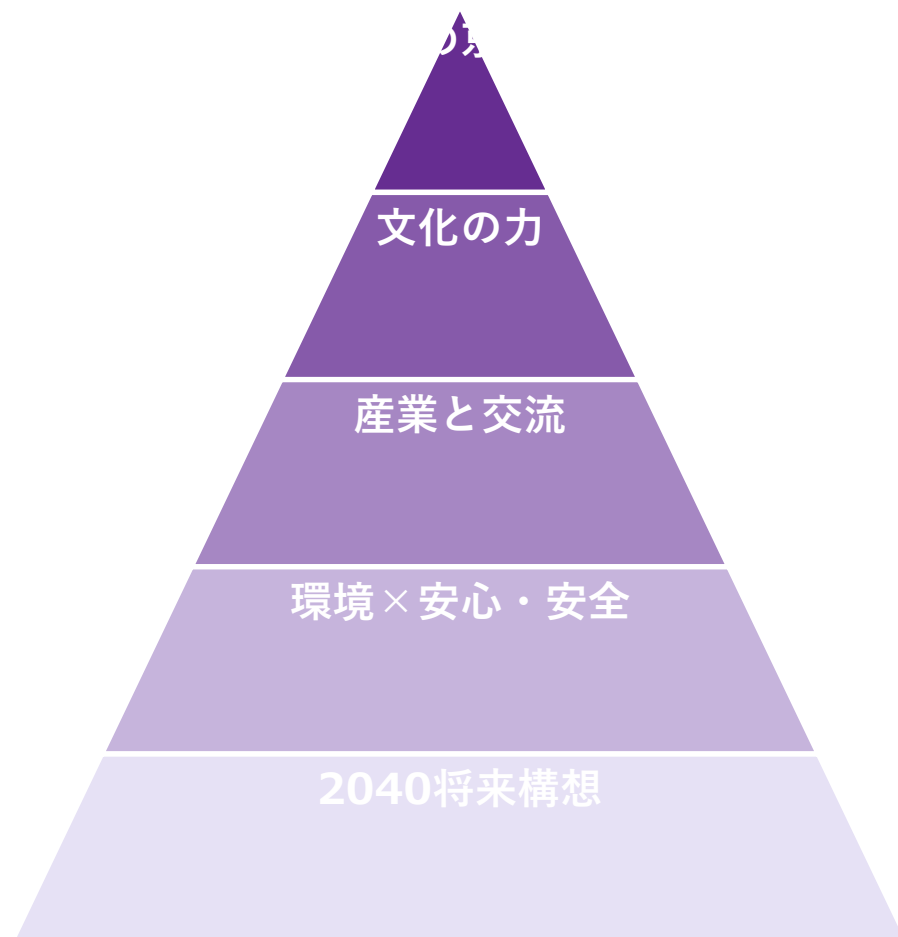
京都府総合計画（概要版）

～ あたたかい京都づくり：安心・温
もり・ゆめ実現 ～
将来構想／基本計画／地域振興計画

令和5（2023）年4月1日?令和9（2027）年3
月31日
京都府

2 将来構想（展望2040）

『一人ひとりの夢や希望が全ての地域で実現できる京都府』を理念に、20年後の社会像を提示。



尊厳と人権が尊重され、全世代が地域で守られ包み込まれる社会

継承と創造を融合し、京都流の新価値を世界へ発信

大学・企業集積×データ・AIで課題解決、各地域にキラリと光る企業

脱炭素と防災・防犯でしなやかで強靱な地域

大転換点を踏まえ、あたたかい京都づくりの方向性を検証・提示

3 改定の背景：歴史的転換点

2019策定→2022前倒し改定。感染症・物価高・国際情勢の変化で不安定化が進行し、構造的課題が深刻化。



社会経済の混乱／国際秩序不安定／雇用悪化／弱者へのしわ寄せ



デジタル遅れの認識／働き方と価値観の変化／絆の重要性の再認識

ポイント①：条例第4条に基づく最上位計画として改定

ポイント②：計画期間：2023.4.1?2027.3.31

4 計画の変遷と期間

羅針盤として府政運営を牽引する総合計画の策定・改定の流れ。

2019/10



『京都府総合計画』策定

2020/01



新型コロナウイルス感染症拡大

2022/12



現行計画満了を待たず前
倒し改定

2023/04



新計画期間開始
(?2027/03)

構造的課題

人口減少／少子高齢化／地域社会の衰退

再認識したこと

信頼関係と連携／子育て孤立への対応／リモート前提の新働き方

あたたかい京都づくりの3視点：安心・温もり・ゆめ実現

5 基本計画の構成

『8つのビジョン＋基盤整備』 『8つの広域連携プロジェクト』 『分野別基本施策』 の三層で推進。

8つのビジョン＋基盤整備

ポイント

重点分野設定／主要方策の明示／到達目標の提示

基盤整備

人流・物流・情報通信・生活基盤の構築

広域連携＋分野別施策

広域連携（8）


産業・物流／環境／文化・スポーツ／観光・交流／北部／南丹／南部イノベーション／けいはんな

分野別（20）

2040年の姿／現状分析・課題／4年間の具体方策／数値目標

6 8つのビジョン（一覧）

安心・温もり・ゆめ実現の3視点にまたがる8ビジョンを俯瞰。

安心・温もり	
 01 健康・医療・福祉の 実現	 02 災害・犯罪等からの 安心・安全
 03 子育て環境日本一・ 京都	 04 生涯現役・共生の京 都

ゆめ実現	
 05 環境先進地・京都	 06 未来を拓く京都産業
 07 文化の力で世界に貢 献	 08 交流と連携による活 力

7 あたたかい京都づくりの3視点

日々の生活を守りつつ、絆を育み、夢を実現するための視点。

■ 安心／温もり／ゆめ実現



安心

アピールポイント

命と暮らしの安全（感染症・災害・犯罪対策）

実施例

危機管理センター設置／流域治水／地域防犯・交通安全



温もり

アピールポイント

子育てを社会で支える／絆とコミュニティを守る

実施例

子育て応援パスポート拡充／教育環境日本一／包摂的な支援



ゆめ実現

アピールポイント

産業・文化・スポーツ・学生の力で希望を育む

実施例

スタートアップ・事業承継／文化創造発信／交流拡大

8 重点分野：5ステップと下段3グループ

計画期間（2023?2027）で重点的に推進する分野。



9 環境×産業×文化の好循環

環境負荷低減を暮らしと経済の活性化につなげ、世界に通用する産業と文化創造で貢献。

ZET-valley形成／地域再エネ最大活用／3R・生物多様性の連携

2030年度 温室効果ガス▲46%（京都チャレンジ）

再エネ比率25%／ゼロエミ地域創出／生物多様性センター（仮称）

環境と共生

リーディングゾーン配置／スタートアップ・事業承継強化／食の新展開

スタートアップ設立累計133件（2023?2026）

中小企業の持続成長／人材確保・育成／国内外市場開拓

持続可能な産業社会

文化創造・国際発信／伝統と先端の融合／交流の場の創出

若手アーティスト参加200人に増加

地域文化活性化／メディア文化×VR/AR／文化財保存・活用

世界に貢献

1 基盤整備の好循環

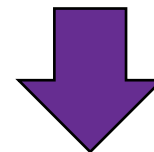
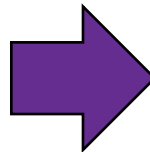
ビジョン・基盤整備

人流・物流

新名神全線開通・6車線化／舞鶴港第2バース等

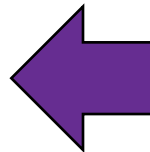
情報通信

デジタル人材育成／DX・メタバース活用／信頼性の確保



日々の生活

健康まちづくり／自転車走行環境整備／公園衛生改善



広域連携

地域特性×連携で施策効果を増幅

1 8つの広域連携プロジェクト

府域全体で連携し、産業・環境・文化・交流を加速。

①



産業・物流

リーディングゾーン創出／港・高速網強化

②



環境

ゼロカーボン地域／ZET・3Rの推進

産学公の連携で好循環を形成

③



観光・交流

もうひとつの京都×ミニMICE／関係人口拡大

④



文化・スポーツ

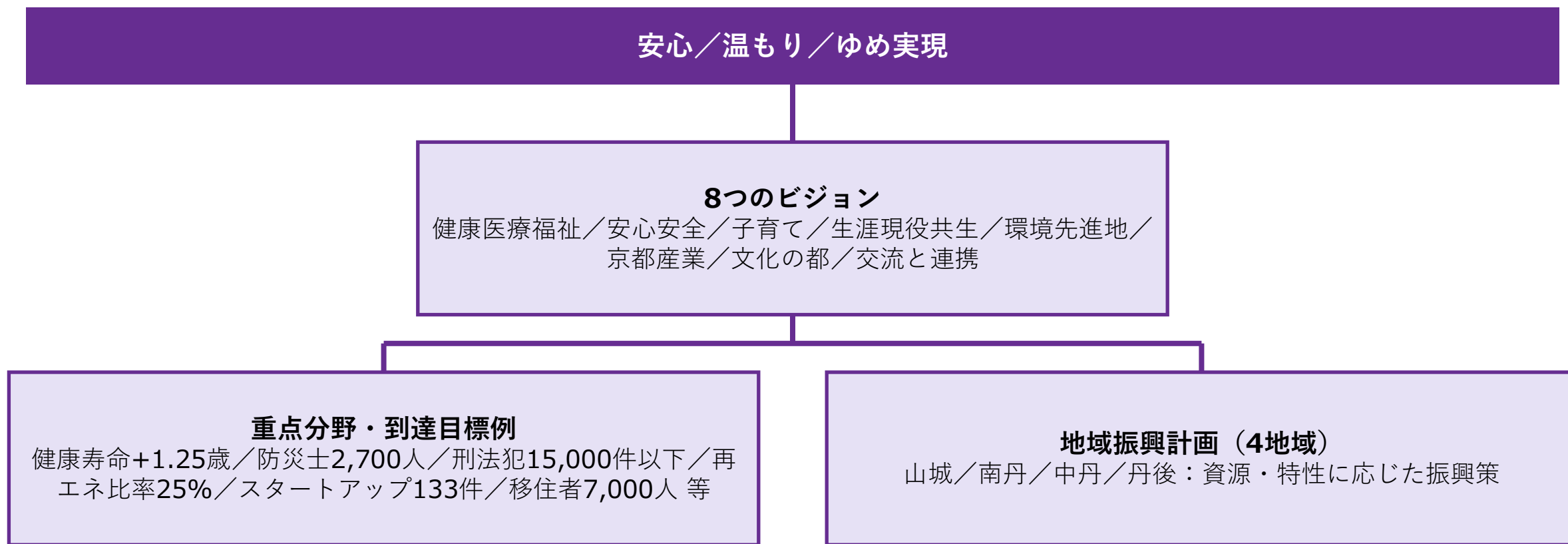
文化創造発信／スタジアム活用・eスポーツ

地域資源×交流で魅力を磨き上げ

1 計画全体の体系化

3視点→8ビジョン→重点分野・到達目標／広域連携／地域振興計画の構造。

2



1 主要到達目標ダイジェスト

2026?2030の主要指標を俯瞰し、進捗管理の視点を整理。

3

安全・基盤

防災・防犯

防災士累計2,700人／刑法犯年間15,000件以下

再エネ・環境

再エネ比率25%／温室効果ガス▲46%（2030）

人と産業・文化

子育て・共生

行動宣言企業3,000社／地域が子育て良好と感じる
90%

産業・文化

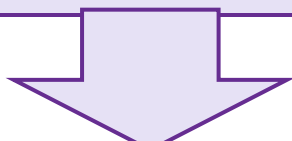
スタートアップ133件／若手アーティスト200人

1 地域振興計画（4局のエッセンス）

山城／南丹／中丹／丹後の資源・特性を生かした振興の方向性。

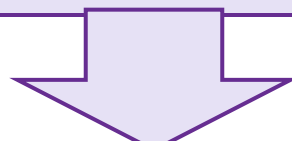
4

山城：イノベーションベルト



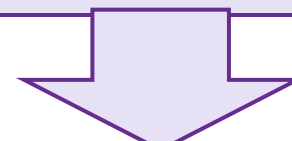
新名神効果の波及／宇
治茶・新鮮野菜／道
路・災害対策

南丹：スポーツ＆ウェルネス



交流1,000万人超構想
／アクセス改善／健康
長寿の推進

中丹・丹後：海・里山・まち



舞鶴港活用／観光満足
度向上／移住・定住促
進